

平成 27 年度 肉用牛の改良増殖目標の  
検討値の算出根拠

平成 16 年 10 月

農林水産省 生産局 畜産部 畜産振興課

# 1 去勢肥育牛の能力目標

## (1) 黒毛和種

項目	平成22年度目標		平成27年度目標					設定の考え方
	現在	目標値	現在	生産費調査* (平成15年)	効率的生産技術**		目標値案	
					実績1 肥育期間 短縮型	実績2 粗飼料 多給型		
肥育開始時 月齢(月)	—	(7~8)	9.5	9.5	7.1 (±2.06)	6.6 (±1.02)	8	肥育効率を考えた場合、早期に肥育を開始することが望ましいことから、現状より2カ月程度短縮
肥育開始時 体重(kg)	—	230~ 264	290	290	219 (±56.8)	173 (±59.0)	260	全国和牛登録協会「黒毛和種正常発育曲線(去勢)」を参考に設定
肥育期間 (月)	—	(17)	(20.5)	20.5	18.7 (±2.48)	22.2 (±2.25)	(16~18)	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な牛肉生産を考慮し、現状より2~4カ月程度短縮
肥育終了時 月齢(月)	30.0	24~25	30.0	30.0	25.8 (±1.25)	28.7 (±1.49)	24~26	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な牛肉生産を考慮し、現状より4~6カ月程度短縮
肥育終了時 体重(kg)	680	670~685	695	696.9	638 (±76.5)	664 (±77.0)	675~725	効率的生産技術実証調査成績、「黒毛和種正常発育曲線(去勢)」とDGの伸びを見込んで設定
枝肉重量 (kg)	—	—	440	442***	399 (±50.3)	419 (±51.3)	430~460	効率的生産技術実証調査成績から、枝肉歩留りを約63%に設定
肉質等級	—	—	3.5	3.5****	3.4 (±0.93)	3.5 (±0.91)	3~4	現状と同程度に設定。整数値。
1日平均 増体量(kg)	0.65	0.85	0.65	0.65	0.74 (±0.13)	0.73 (±0.11)	0.85	効率的生産技術実証調査成績、「黒毛和種正常発育曲線(去勢)」とDGの伸びを見込んで設定

- (注) \* 農林水産省「畜産物生産費調査」(平成15年)  
 \*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業のうち効率的生産技術実証調査成績(平成15年度)  
 \*\*\* 肥育終了時体重と枝肉歩留りから算出  
 \*\*\*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業(15年度)

(2) 褐毛和種

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標					設 定 の 考 え 方
	現 在	目 標 値	現 在	登 録 協 会 調 査*	効率的生産技術**		目 標 値 案	
					実績1 肥育期間 短縮型	実績2 粗飼料 多給型		
肥育開始時 月齢(月)	—	(7~8)	9.4	9.4	8.9 (±0.78)	9.3 (±0.86)	8	肥育効率を考えた場合、早期に肥育を開始することが望ましいことから、現状より2カ月程度短縮
肥育開始時 体重(kg)	—	234~ 273	305	305	305 (±27.0)	304 (±29.3)	270	登録協会調査の平均日齢体重を参考に設定
肥育期間 (月)	—	(15)	(15.6)	15.6	14.8 (±0.98)	14.7 (±1.33)	(15)	効率的生産技術実証調査成績を参考に設定
肥育終了時 月齢(月)	24.0	22~23	25.0	25.0	23.7 (±1.04)	24.0 (±1.26)	23	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な牛肉生産を考慮し、現状より2カ月程度短縮
肥育終了時 体重(kg)	740	710~730	755	756	706 (±61.1)	705 (±59.1)	750	効率的生産技術実証調査成績及び登録協会調査を参考にDGの伸びを見込んで設定
枝肉重量 (kg)	—	—	470	472***	438 (±37.6)	437 (±39.8)	470	効率的生産技術実証調査成績から、枝肉歩留りを約62%に設定
肉質等級	—	—	2.5	2.5****	2.6 (±0.64)	2.6 (±0.68)	3	現状と同程度に設定。整数値。
1日平均 増体量(kg)	1.00	1.05	0.95	0.95	0.89 (±0.14)	0.91 (±0.17)	1.05	効率的生産技術実証調査成績及び登録協会調査を参考にDGの伸びを見込んで設定

(注) \* (社)あか牛登録協会調べ(平成15年度)  
 \*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業のうち効率的生産技術実証調査成績(平成15年)  
 \*\*\* 肥育終了時体重と枝肉歩留りから算出  
 \*\*\*\* (社)日本食肉格付協会調べ(平成15年度)

(3) 日本短角種

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標					設 定 の 考 え 方
	現 在	目標値	現 在	改良進度 実態調査*	効率的生産 技術**	(参考) 標準肥育 モデル***** (肥育短縮 型)	目標値案	
					粗飼料 多給型			
肥育開始時 月齢(月)	—	(7~8)	9.0	9.0	7.3 (±0.86)	7	7	効率的生産技術実証調査成績を参考に設定
肥育開始時 体重(kg)	—	250~ 287	230	232	247 (±42.0)	230	250	効率的生産技術実証調査成績を参考に設定
肥育期間 (月)	—	(12)	(16.0)	16.1	16.0 (±1.75)	(12)	(13)	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な牛肉生産を考慮し、効率的生産技術実証調査成績より3カ月程度短縮
肥育終了時 月齢(月)	23.5	19~20	25.0	25.1	23.3 (±1.58)	19	20	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な牛肉生産を考慮し、効率的生産技術実証調査成績より5カ月程度短縮
肥育終了時 体重(kg)	675	650~675	715	712.2	655 (±46.7)	600	685	効率的生産技術実証調査成績を参考にDGの伸びを見込んで設定
枝肉重量 (kg)	—	—	445	445***	409 (±30.7)	—	430	効率的生産技術実証調査成績から、枝肉歩留りを約62%に設定
肉質等級	—	—	1.9	1.9****	2.3 (±0.74)	—	2	現状と同程度に設定。整数値。
1日平均 増体量(kg)	0.90	1.10	1.00	0.98	0.84 (±0.11)	1.03	1.10	効率的生産技術実証調査成績を参考にDGの伸びを見込んで設定

(注) \* 家畜改良進度実態調査(平成11年度)  
 \*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業のうち効率的生産技術実証調査成績(平成15年度)  
 \*\*\* 肥育終了時体重と枝肉歩留りから算出  
 \*\*\*\* 岩手県農業研究センター畜産研究所(平成13年)  
 \*\*\*\*\* 社団法人岩手県畜産会(昭和62年3月)

(4) 乳用種

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標					設 定 の 考 え 方
	現 在	目標値	現 在	生産費調査* (平成15年)	効率的生産技術**		目標値案	
					実績1 肥育期間 短縮型	実績2 粗飼料 多給型		
肥育開始時 月齢(月)	—	(6~7)	6.8	6.8	6.5 (±0.56)	7.0 (±1.32)	6	現状程度に設定
肥育開始時 体重(kg)	—	270~ 319	270	269	288 (±22.3)	283 (±43.2)	270	効率的生産技術実証調査成績を参考に設定
肥育期間 (月)	—	(11)	(15.7)	16.0	12.1 (±1.62)	12.7 (±1.32)	(14)	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な 牛肉生産を考慮し、現状より4カ月程度短縮
肥育終了時 月齢(月)	22	17~18	22.5	22.7	18.6 (±1.60)	19.8 (±1.05)	20	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な 牛肉生産を考慮し、現状より2.5カ月程度短縮
肥育終了時 体重(kg)	750	735~760	760	760	731 (±68.9)	735 (±56.8)	800	効率的生産技術実証調査成績を参考にDGの伸びを 見込んで設定
枝肉重量 (kg)			435	436***	408 (±44.1)	425 (±36.6)	460	効率的生産技術実証調査成績から、枝肉歩留りを約 57%に設定
肉質等級			2.0	2.0****	2.0 (±0.32)	2.1 (±0.35)	2	現状と同程度に設定。整数値。
1日平均 増体量(kg)	1.05	1.40	1.00	1.01	1.22 (±0.69)	1.17 (±0.16)	1.25	効率的生産技術実証調査成績を参考にDGの伸びを 見込んで設定

(注) \* 農林水産省「畜産物生産費調査」(平成15年)  
 \*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業のうち効率的生産技術実証調査成績(平成15年度)  
 \*\*\* 肥育終了時体重と枝肉歩留りから算出  
 \*\*\*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業(平成15年度)

(5) 交雑種

項 目	平成22年度目標		平成27年度目標					設 定 の 考 え 方
	現 在	目 標 値	現 在	生産費調査* (平成15年)	効率的生産技術**		目 標 値 案	
					実績1 肥育期間 短縮型	実績2 粗飼料 多給型		
肥育開始時 月齢(月)	—	—	7.8	7.8	7.4 (±0.95)	5.0 (±3.23)	7	効率的生産技術実証調査成績を参考に設定
肥育開始時 体重(kg)	—	—	260	259	256 (±29.3)	192 (±108.4)	250	効率的生産技術実証調査成績を参考に設定
肥育期間 (月)	—	—	(19.2)	19.4	15.3 (±1.59)	20.3 (±3.64)	(16)	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な 牛肉生産を考慮し、現状より3カ月程度短縮
肥育終了時 月齢(月)	—	—	27.0	27.2	22.8 (±1.32)	25.3 (±1.95)	23	低コスト生産、収益性の確保をベースとした良質な 牛肉生産を考慮し、現状より4カ月程度短縮
肥育終了時 体重(kg)	—	—	725	726	723 (±63.3)	726 (±73.6)	760	効率的生産技術実証調査成績と乳用種の目標を参考に DGの伸びを見込んで設定
枝肉重量 (kg)	—	—	440	439***	428 (±45.4)	439 (±42.0)	460	効率的生産技術実証調査成績から、枝肉歩留りを約 60%に設定
肉質等級	—	—	2.6	2.6****	2.6 (±0.66)	2.78 (±0.67)	3	現状と同程度に設定。整数値。
1日平均 増体量(kg)	—	—	0.80	0.79	1.02 (±0.21)	0.87 (±0.16)	1.05	効率的生産技術実証調査成績を参考にDGの伸びを 見込んで設定

(注) \* 農林水産省「畜産物生産費調査」(平成15年)  
 \*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業のうち効率的生産技術実証調査成績(平成15年度)  
 \*\*\* 肥育終了時体重と枝肉歩留りから算出  
 \*\*\*\* 肉用牛生産基盤安定化支援対策事業(平成15年度)

## 2 種雄牛の能力目標

### (1) 間接検定

品 種	項 目	22年度目標設定時		現 在 (H12~14)	27年度 目標値(案)	設定の考え方
		現 在 (H17~9)	目標値 (H22)			
黒毛和種	1日平均 増体量 (kg)	0.89	0.95	0.92	1.01	今後、現状よりも増体性及び飼料利用性に重点を置いた改良が進展すると考えられることから、平成2年度からの移動3カ年平均値による回帰式により算出した値から5%向上させた値を目標値とした。
	1kg増体 当たりTDN (kg)	6.6	6.4	6.5	6.1	
	脂肪交雑 (BMS No.)	7.5	8.3	8.2	9.5	これまでは、特に脂肪交雑に重点を置いた改良が進められてきたことから、平成5年度からの移動3カ年平均値による回帰式により算出した値よりも5%を減じて得た値を目標値とした。

品 種	項 目	2 2 年度目標設定時		現 在 (H12～14)	2 7 年度 目標値(案)	設定の考え方
		現 在 (H7～9)	目標値 (H22)			
褐毛和種	1 日平均 増体量 (kg)	0.98	1.05	1.05	1.10	平成2年度からの移動3カ年平均値による回帰式により算出した目標値が現在値を下回っているため、現在値より5%の向上を見込んだ値を目標値とした。
	1 kg増体 当たりTDN (kg)	6.8	6.3	6.3	5.7	平成2年度からの移動3カ年平均値による回帰式により算出した値を目標値とした。
	脂肪交雑 (BMS No.)	5.9	6.7	7.1	8.0	これまでは、特に脂肪交雑に重点を置いた改良が進められてきたことから、平成5年度からの移動3カ年平均値による回帰式により算出した値よりも5%を減じて得た値を目標値とした。



品 種	項 目	2 2 年度目標設定時		現 在 (H12～14)	2 7 年度 目標値(案)	設定の考え方
		現 在 (H17～9)	目標値 (H22)			
日本短角種	1 日平均 増体量 (kg)	1.16	1.20	1.18	<del>1.20</del> —	
	1 kg増体 当たりTDN (kg)	6.2	5.9	6.1	<del>5.6</del> —	
	脂肪交雑 (BMS No.)	2.6	3.0	3.3	<del>3.7</del> —	

日本短角種の種雄牛造成は、青森県及び岩手県で行われてきた。青森県は既にフィールド検定に移行しており、また、間接検定を行っていた岩手県において、検定方法が17年度実施分よりフィールド検定に完全に移行するため、間接検定の実施が無くなることから、27年度目標値は設定しない。

## (2) 育種価向上値

育種価向上値は、育種価を推定した種雄牛のうち、最も新しい年度に生産された種雄牛の育種価の平均値を0（基準）とし、27年度に評価された種雄牛のうち最も新しい年度に生産された種雄牛の育種価の平均値が、基準と比較して向上した数値。

品 種	項 目	現在値 年度	27年度 目標値（案）	設 定 の 考 え 方
黒毛和種	日齢枝肉重量 （g）	9年度	+28.0	昭和60年度から平成9年度までの平均値による回帰式により算出した数値では現在値よりも低下することから、昭和60年度から平成9年度までの平均値のうち、最高値である昭和62年度の平均値を目標値とした。なお、昭和62年度の平均値は、すべての年度の標準偏差の範囲内にある。
	脂肪交雑 （BMS No.）		+0.67	昭和60年度から平成9年度までの平均値による回帰式により算出した数値はかなり向上するが、増体性を重視した改良を推進するため、回帰式で得られた数値と現在値の中間値を目標とした。
褐毛和種	日齢枝肉重量 （g）	11年度	+16.6	昭和60年度から平成11年度までの平均値による回帰式により算出した数値を目標値とした。
	脂肪交雑 （BMS No.）		+0.53	昭和60年度から平成11年度までの平均値による回帰式により算出した数値はかなり向上するが、増体性を重視した改良を推進するため、回帰式で得られた数値と現在値の中間値を目標とした。
日本短角種	日齢枝肉重量 （g）	8年度	+13.7	昭和60年度から平成8年度までの平均値による回帰式により算出した数値では現在値よりも低下することから、昭和60年度から平成8年度までの平均値のうち、最高値である昭和62年度の平均値を目標値とした。なお、昭和62年度の平均値は、ほとんどの年度の標準偏差の範囲内にある。
	脂肪交雑 （BMS No.）		±0	昭和60年度から平成8年度までの平均値による回帰式により算出した数値では現在値よりも低下すること、これまでの変動幅が非常に小さいこと、現在値が最高値であることから、現在値を目標とした。

資料：（独）家畜改良センター調べ

### 3 繁殖能力の目標

項 目	22年度改良増殖目標		27年度改良増殖目標	
	現 在	目 標 値	現 在	目 標 値
初産月齢	カ月齢 25	カ月齢 24	25カ月齢  ・繁殖雌牛調査指導事業の調査成績では近年横ばい傾向であり、平成15年度の成績では25カ月齢。	24カ月齢  ・平成14年度の高等登録牛の成績では23.3カ月と既に24カ月齢以下の水準となっていることから、現状より1カ月の若齢化を目標とし、24カ月齢とする。
分娩間隔	カ月 13.3	カ月 12.5	13.2カ月  ・繁殖雌牛調査指導事業の調査成績では近年横ばい傾向であり、平成15年度の成績では13.2カ月。	12.5カ月  ・分娩間隔は事業成績では近年13.2カ月程度で横ばいであるが、平成14年度の高等登録牛の成績では12.3カ月となっていることから、現状より0.7カ月の短縮を目標とし、12.5カ月とする。

## 4 体型の目標

### (1) 黒毛和種

項目	22年度改良増殖目標		27年度改良増殖目標																																						
	現在	目標値	現在		目標値																																				
体高	129cm	130cm	130		130																																				
胸囲	184cm	192cm	185		188																																				
かん幅	46cm	47cm	47		48																																				
体重	455kg	520kg	465		480																																				
			<p>現在値は平成12年度家畜改良進度実態調査と平成13,14年度家畜改良状況調査の平均。</p> <p>高等登録牛の成績、社団法人全国和牛登録協会が定める「黒毛和種正常発育曲線」を参考に設定。</p>																																						
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>体高</th> <th>胸囲</th> <th>かん幅</th> <th>体重</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>130 (100)</td> <td>185 (142)</td> <td>47 (36)</td> <td>465 (358)</td> </tr> <tr> <td>高等登録牛 (14年度)</td> <td>130.7 (100)</td> <td>185.1 (142)</td> <td>46.6 (36)</td> <td>472.2 (361)</td> </tr> <tr> <td>正常発育曲線 (48カ月) H16.4改正</td> <td>129.4 (100)</td> <td>183.7 (142)</td> <td>46.5 (36)</td> <td>453.5 (350)</td> </tr> <tr> <td>〔正常発育曲線〕 〔H16.4改正前〕</td> <td>129.5 (100)</td> <td>192 (148)</td> <td>—</td> <td>514 (397)</td> </tr> <tr> <td>22年度目標</td> <td>130 (100)</td> <td>192 (148)</td> <td>47 (36)</td> <td>520 (400)</td> </tr> <tr> <td>27年度目標</td> <td>130 (100)</td> <td>188 (145)</td> <td>48 (37)</td> <td>480 (369)</td> </tr> </tbody> </table>					体高	胸囲	かん幅	体重	現在	130 (100)	185 (142)	47 (36)	465 (358)	高等登録牛 (14年度)	130.7 (100)	185.1 (142)	46.6 (36)	472.2 (361)	正常発育曲線 (48カ月) H16.4改正	129.4 (100)	183.7 (142)	46.5 (36)	453.5 (350)	〔正常発育曲線〕 〔H16.4改正前〕	129.5 (100)	192 (148)	—	514 (397)	22年度目標	130 (100)	192 (148)	47 (36)	520 (400)	27年度目標	130 (100)	188 (145)	48 (37)	480 (369)
	体高	胸囲	かん幅	体重																																					
現在	130 (100)	185 (142)	47 (36)	465 (358)																																					
高等登録牛 (14年度)	130.7 (100)	185.1 (142)	46.6 (36)	472.2 (361)																																					
正常発育曲線 (48カ月) H16.4改正	129.4 (100)	183.7 (142)	46.5 (36)	453.5 (350)																																					
〔正常発育曲線〕 〔H16.4改正前〕	129.5 (100)	192 (148)	—	514 (397)																																					
22年度目標	130 (100)	192 (148)	47 (36)	520 (400)																																					
27年度目標	130 (100)	188 (145)	48 (37)	480 (369)																																					

(2) 褐毛和種

項目	22年度改良増殖目標		27年度改良増殖目標																																	
	現在	目標値	現在		目標値																															
体高	133cm	134cm	133		134																															
胸囲	189cm	200cm	192		200																															
かん幅	48cm	50cm	49		50																															
体重	545kg	600kg	557		600																															
			<p>現在値は平成12年度家畜改良進捗実態調査と平成13,14年度家畜改良状況調査の平均。</p> <p>社団法人日本あか牛登録協会が定める「あか牛の正常発育曲線」を参考に設定。</p>																																	
			<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>体高</th> <th>胸囲</th> <th>かん幅</th> <th>体重</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現在</td> <td>133 (100)</td> <td>192 (144)</td> <td>49 (37)</td> <td>557 (419)</td> </tr> <tr> <td>改良状況調査(14)</td> <td>132.8 (100)</td> <td>190.1 (143)</td> <td>49 (37)</td> <td>519 (391)</td> </tr> <tr> <td>正常発育曲線(48ヵ月)</td> <td>132.2 (100)</td> <td>196.9 (149)</td> <td>48.6 (37)</td> <td>564 (426)</td> </tr> <tr> <td>22年度目標</td> <td>134 (100)</td> <td>200 (149)</td> <td>50 (37)</td> <td>600 (448)</td> </tr> <tr> <td>27年度目標</td> <td>134 (100)</td> <td>200 (149)</td> <td>50 (37)</td> <td>600 (448)</td> </tr> </tbody> </table>					体高	胸囲	かん幅	体重	現在	133 (100)	192 (144)	49 (37)	557 (419)	改良状況調査(14)	132.8 (100)	190.1 (143)	49 (37)	519 (391)	正常発育曲線(48ヵ月)	132.2 (100)	196.9 (149)	48.6 (37)	564 (426)	22年度目標	134 (100)	200 (149)	50 (37)	600 (448)	27年度目標	134 (100)	200 (149)	50 (37)	600 (448)
	体高	胸囲	かん幅	体重																																
現在	133 (100)	192 (144)	49 (37)	557 (419)																																
改良状況調査(14)	132.8 (100)	190.1 (143)	49 (37)	519 (391)																																
正常発育曲線(48ヵ月)	132.2 (100)	196.9 (149)	48.6 (37)	564 (426)																																
22年度目標	134 (100)	200 (149)	50 (37)	600 (448)																																
27年度目標	134 (100)	200 (149)	50 (37)	600 (448)																																

(3) 日本短角種

項 目	22年度改良増殖目標		27年度改良増殖目標																																						
	現 在	目 標 値	現 在		目 標 値																																				
体高	132cm	132cm	132		132																																				
胸囲	200cm	205cm	200		205																																				
かん幅	50cm	52cm	50		52																																				
体重	570kg	590kg	590		600																																				
			<p>現在値は平成12年度家畜改良進度実態調査と平成13,14年度家畜改良状況調査の平均（体重については、平成12年度家畜改良進度実態調査と14年度家畜改良状況調査の平均）。</p> <p>社団法人日本短角種登録協会が定める「審査標準」及び「正常発育曲線」を参考に設定。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>体 高</th> <th>胸 囲</th> <th>かん幅</th> <th>体 重</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>現 在</td> <td>132 (100)</td> <td>200 (152)</td> <td>50 (38)</td> <td>590 (447)</td> </tr> <tr> <td>改良状況調査(14)</td> <td>132.4 (100)</td> <td>199.6 (151)</td> <td>50.1 (38)</td> <td>615.5 (465)</td> </tr> <tr> <td>登録協会 審査標準</td> <td>132 (100)</td> <td>205 (155)</td> <td>52 (39)</td> <td>640 (485)</td> </tr> <tr> <td>正常発育曲 線(48カ月)</td> <td>130.7 (100)</td> <td>197.8 (151)</td> <td>50.3 (38)</td> <td>580.6 (444)</td> </tr> <tr> <td>22年度目標</td> <td>132 (100)</td> <td>205 (155)</td> <td>52 (39)</td> <td>590 (447)</td> </tr> <tr> <td>27年度目標</td> <td>132 (100)</td> <td>205 (155)</td> <td>52 (39)</td> <td>600 (455)</td> </tr> </tbody> </table>					体 高	胸 囲	かん幅	体 重	現 在	132 (100)	200 (152)	50 (38)	590 (447)	改良状況調査(14)	132.4 (100)	199.6 (151)	50.1 (38)	615.5 (465)	登録協会 審査標準	132 (100)	205 (155)	52 (39)	640 (485)	正常発育曲 線(48カ月)	130.7 (100)	197.8 (151)	50.3 (38)	580.6 (444)	22年度目標	132 (100)	205 (155)	52 (39)	590 (447)	27年度目標	132 (100)	205 (155)	52 (39)	600 (455)
	体 高	胸 囲	かん幅	体 重																																					
現 在	132 (100)	200 (152)	50 (38)	590 (447)																																					
改良状況調査(14)	132.4 (100)	199.6 (151)	50.1 (38)	615.5 (465)																																					
登録協会 審査標準	132 (100)	205 (155)	52 (39)	640 (485)																																					
正常発育曲 線(48カ月)	130.7 (100)	197.8 (151)	50.3 (38)	580.6 (444)																																					
22年度目標	132 (100)	205 (155)	52 (39)	590 (447)																																					
27年度目標	132 (100)	205 (155)	52 (39)	600 (455)																																					